

## 20年で街はどう変わった?!～「平成の大合併」前と比較～

昨年11月に、2020年10月国勢調査のうち、市町村別の人口などの基本集計が発表されました。今回の発表では、いわゆる「平成の大合併」の前の市町村域ごとの人口も公表されています。かつて和歌山県内に50あった市町村の人口はどんな状況になっているのか、20年前と比べてみました。

### 2000年と2020年の人口・高齢化率の変化

青地は2020年現在存在する県内30自治体。白地は「平成の大合併」前に存在し、現在は合併に伴い消滅している旧自治体。

青地の自治体のうち、平成の大合併で誕生した新自治体の2000年の人口・高齢化率は、構成している旧自治体の人口をもとに算出。たとえば現在の海南市の2000年の人口・高齢化率(60,373人・24.3%)は旧海南市・旧下津町の総人口・高齢者人口をもとに算出しています。2000年の高齢化率については独自に算出しているため、公式発表とは異なることがあります。出典：国勢調査結果

	2020年		2000年		人口増減率	高齢化率上昇幅
	人口	高齢化率	人口	高齢化率		
<b>和歌山県</b>	<b>922,584</b>	<b>33.4</b>	<b>1,069,912</b>	<b>21.2</b>	<b>-13.8%</b>	<b>12.2</b>
和歌山市	356,729	31.1	386,551	18.6	-7.7%	12.5
海南市	48,369	36.9	60,373	24.3	-19.9%	12.6
旧海南市	37,863	35.7	45,507	24.5	-16.8%	11.2
旧下津町	10,506	41.4	14,866	23.9	-29.3%	17.5
橋本市	60,818	33.3	70,469	17.5	-13.7%	15.7
旧橋本市	48,518	32.3	55,071	16.5	-11.9%	15.8
旧高野口町	12,300	36.9	15,398	21.3	-20.1%	15.6
有田市	26,538	35.2	33,661	20.5	-21.2%	14.7
御坊市	23,481	31.9	28,034	21.9	-16.2%	10.0
田辺市	69,870	34.0	85,646	22.7	-18.4%	11.2
旧田辺市	59,873	32.0	70,360	20.2	-14.9%	11.8
旧龍神村	2,751	44.3	4,461	33.9	-38.3%	10.4
旧中辺路町	2,420	48.1	3,710	35.1	-34.8%	13.0
旧大塔村	2,378	38.3	3,246	30.8	-26.7%	7.5
旧本宮町	2,448	50.9	3,869	37.3	-36.7%	13.6
新宮市	27,171	38.4	35,176	24.9	-22.8%	13.5
旧新宮市	26,044	37.9	33,133	24.2	-21.4%	13.7
旧熊野川町	1,127	49.1	2,043	36.6	-44.8%	12.5
紀の川市	58,816	33.3	70,067	20.5	-16.1%	12.8
旧打田町	15,531	29.5	15,194	20.2	2.2%	9.3
旧粉河町	11,723	39.0	16,918	23.3	-30.7%	15.7
旧那賀町	6,450	38.2	8,835	24.8	-27.0%	13.4
旧桃山町	6,591	35.3	8,041	24.5	-18.0%	10.8
旧貴志川町	18,521	30.3	21,079	15.1	-12.1%	15.2
岩出市	53,967	24.2	48,156	11.5	12.1%	12.7
紀美野町	8,256	48.6	12,387	32.6	-33.3%	16.0
旧野上町	5,795	47.4	8,317	28.4	-30.3%	19.0
旧美里町	2,461	51.4	4,070	41.1	-39.5%	10.3
かつらぎ町	15,967	40.3	20,945	25.3	-23.8%	15.0
旧かつらぎ町	15,721	40.1	20,331	24.9	-22.7%	15.2
旧花園村	246	56.1	614	37.3	-59.9%	18.8
九度山町	3,856	46.5	6,073	27.0	-36.5%	19.5
高野町	2,970	41.4	5,355	27.9	-44.5%	13.5
湯浅町	11,122	37.0	15,410	22.4	-27.8%	14.6
広川町	6,781	35.7	8,361	21.2	-18.9%	14.5
有田川町	25,258	33.0	29,563	26.4	-14.6%	6.6
旧吉備町	16,199	25.2	14,694	20.2	10.2%	5.0
旧金屋町	6,530	43.4	9,731	29.0	-32.9%	14.4
旧清水町	2,529	55.8	5,138	38.8	-50.8%	17.0
美浜町	6,867	37.5	8,802	24.5	-22.0%	13.0
日高町	7,673	30.3	7,148	24.8	7.3%	5.5
由良町	5,364	39.3	7,625	23.6	-29.7%	15.7
印南町	7,720	37.0	9,769	26.4	-21.0%	10.6
みなべ町	11,818	33.4	14,734	23.5	-19.8%	9.9
旧南部川村	4,949	34.2	6,626	24.1	-25.3%	10.1
旧南部町	6,869	32.8	8,108	22.9	-15.3%	9.9
日高川町	9,219	36.8	11,607	28.5	-20.6%	8.2
旧川辺町	6,145	31.5	6,904	23.8	-11.0%	7.7
旧中津村	1,723	43.2	2,538	32.3	-32.1%	10.9
旧美山村	1,351	52.5	2,165	39.3	-37.6%	13.2
白浜町	20,262	39.9	24,563	25.5	-17.5%	14.5
旧白浜町	17,337	37.9	19,722	23.7	-12.1%	14.2
旧日置川町	2,925	51.6	4,841	32.7	-39.6%	18.9
上富田町	15,236	27.2	14,501	17.0	5.1%	10.2
すさみ町	3,685	49.0	5,952	34.4	-38.1%	14.6
那智勝浦町	14,137	43.9	19,417	27.0	-27.2%	16.9
太地町	2,791	44.9	3,777	30.9	-26.1%	14.0
古座川町	2,480	55.2	3,726	42.6	-33.4%	12.6
北山村	404	45.0	635	40.9	-36.4%	4.1
串本町	14,959	46.7	21,429	30.7	-30.2%	16.0
旧串本町	11,142	45.4	15,687	29.9	-29.0%	15.5
旧古座町	3,817	50.4	5,742	33.0	-33.5%	17.4

### 山間部を中心に人口激減

右の表は、2000年と2020年の国勢調査による、各市町村の人口と高齢化率、そして20年間の人口増減率と高齢化率の上昇幅をまとめたものです。県全体では20年間で約14%人口が減少し、高齢化率は12・2ポイント上昇しています。20年間で30%以上の人口減少がみられるのは紀美野町、高野町、九度山町、すさみ町、北山村、古座川町、串本町の7町村。しかし、合併前の50市町村域でみても、全体の4割が30%以上人口が減少しており、特に山間部で人口が大きく減少していることがわかります。

人口が増加しているのは岩出市(旧岩出町)の3自治体ですが、合併前の50市町村域で見ると16自治体となります。しかし、人口が大幅に減少しているにも関わらず高齢化率は大きく変わっていない、または人口減少はあまりみられないにも関わらず高齢化率は県平均よりも高い、という自治体もみられます。

### 高齢化率は人口減少と比例しない？

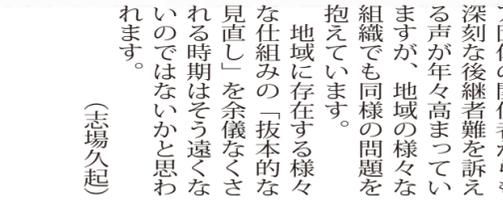
続いて65歳以上の人口割合を示す高齢化率を市町村ごとにみても、20年間で高齢化率もつと上がっているのは九度山町で約20ポイント上昇しています。この九度山町を含め、高齢化率が15ポイントを超えて上昇しているのは7自治体あり

ます。これを合併前の市町村域でみると16自治体となります。しかし、人口が大幅に減少しているにも関わらず高齢化率は大きく変わっていない、または人口減少はあまりみられないにも関わらず高齢化率は県平均よりも高い、という自治体もみられます。

例えば、現在は田辺市の一部になっている旧大塔村は人口は25%以上減少しているにも関わらず、高齢化率は7・5ポイントの上昇にとどまっています。逆に岩出市は人口が増加していますが、高齢化率の上昇幅は和歌山県全体よりも0・5ポイント上回っています。

前者はもとも高齢化が進んでいたため、人口が減少しても高齢化率はそれほど影響がなかったか、一定の若年層の増加により、高齢化率の上昇が抑えられたなどの理由が考えられます。後者はもとも高齢化はさほど進んでいなかったため、他自治体よりも遅れて高齢化が急速に進んでいること、などの理由が考えられます。

これらのように人口減少がただちに高齢化率の上昇につながるという驚きをもつてこの数字を眺めているところ、少なくなっているわけではない、むしろ必要があるのかもしれない。



### 近畿ろうきん「社会貢献プロジェクト・笑顔プラス」

## 講演会 7.18 水害を語り継ぐ ～防災・減災で地域を守る

有田川流域は、1953年(昭和28年)7月18日、未曾有の水害に見舞われました。その当時の様子を語り部さんが次世代に語り継いでいます。

この講演会では、7.18水害を忘れず、自然災害への防災・減災を考える機会を提供します。水害の悲惨な様子を心に刻むことにより、いざという時の避難の行動に踏み出すことができます。地域住民を守るという行動に繋がっていきましょう。

- 【講師】 宮本 康さん—7.18水害語り部さんとして当時の話を語り継いでいます。
- 【日時】 2月5日(土) 13:00～14:10
- 【会場】 有田市民会館 第2会議室+ZOOM配信(ハイブリッド開催)
- 【定員】 会場20名、オンライン50名
- 【参加費】 無料(参加お申し込みが必要です)

※お申し込みは右のQRコードもしくは、メールで受け付けます。メールの場合は、件名を2/5ろうきん講演会としていただき、お名前、団体名(ございましたら)、電話番号、メールアドレス(PCからのメールを受信できるもの)をinfo@wakayama-npo.jpまでお送りください。



- 【主催】 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター TEL 073-424-2223 (火曜～金曜 10時～17時、不在時は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます)
- 【共催】 近畿労働金庫
- 【後援】 公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会、和歌山県生活共同組合連合会



2011年紀伊半島大水害時の新宮市内の様子